

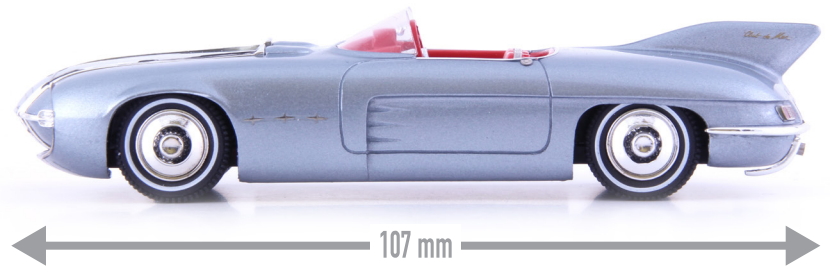
Scale 1/43

#06046

available

07/2020

limited edition 333 Stck.



未来の感触

1956年に米国自動車の歴史に刻まれることになるクラブ・ド・メール。米ゼネラルモーターズグループがそのコンセプトカーのアイデアを形にするまでに数年かかりました。当初のアイデアは単に「未来のデザインへの取り組み」を具現化した車を開発するというものでした。

GMの設計者は、当時出来たばかりの「テクニカルセンター」で自由にアイデアを出しました。1000を超えるアイデアの中から、GMの副社長ハーレー J. アールによって最終的に1つが選ばれました。ジャーナリストによると、受賞作のデザインは快適性、安全性、パフォーマンス、美しさを備えたスポーツカーを実現するものでした。選ばれたデザインは、ポンティアックデザイン部門の責任者であるPaul Gillanが率いるチームによってオリジナルのサイズで実現されました。基本的なフォームとして木製のベースが使われ、細心の注意を払ってボディフィラーが施され、最終的にボディの形状を詳細に反映する基本的なモールドが作成されました。この型を使って、

車体は金属とプラスチックで形成されました。完成した車体は、つや消しアルミニウムとエレガントなブルーで塗装されました。GMは 'Motorama' ショーと1956年のマイアミの展示会でのみ車を一般に公開しました。展示スタンドの周りに来場者が群がり、GMプロモーターがコンセプトカーを未来のスポーツカーとして宣伝しました。GMの広報部門も宣伝写真を掲載したため、コンセプトカーもメディアに掲載されました。アメリカではこのようにして人気が高まりました。

結果、車はその使命を果たし、1958年に社内でスクラップが遂行されました。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de